

2つの有効成分の組み合わせにより、
りんご、なしのハダニ類、かんきつのミカンハダニに優れた効果!

スピグウス[®]

園芸殺虫剤

フロアブル

®は協友アグリ(株)の登録商標

りんごに
適用拡大!



なしに
適用拡大!



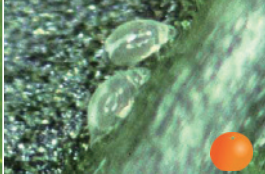
ミカンハダニ



ミカンサビダニ



チャノホコリダニ



ナミハダニ



チャノキイロアザミウマ



ミカンハモグリガ



●りんご登録 ●なし登録 ●かんきつ登録

メビウスフロアブルの特長

- ミカンハダニに長期残効を示すエトキサゾールと、速効性と浸透性に優れたアバメクチンの混合剤です。
- 2成分の組み合わせにより、かんきつのミカンハダニ、りんご・なしのハダニ類に高い活性と残効を示します。
- かんきつでは、ミカンハダニに加え、アザミウマ類、ミカンサビダニなどを同時防除できます。
- 耐雨性に優れ、散布後乾けば降雨による影響はほとんど受けません。



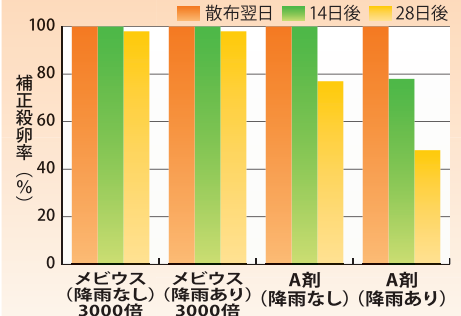
適用害虫と使用方法

(赤字:2026年3月18日付適用拡大内容)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数	使用方法
りんご	ハダニ類	2000倍	200~700ℓ/10a	収穫14日前まで	本剤:1回 アバメクチン:1回 エトキサゾール:2回以内	散布
なし	アザミウマ類、ハダニ類					
かんきつ (みかんを除く)	ナメクジ類、リュウキュウミカンサビダニ	2000~3000倍	10ℓ/10a 16ℓ/10a 20ℓ/10a 10ℓ/10a 16ℓ/10a 20ℓ/10a	収穫7日前まで	本剤:2回以内 アバメクチン:3回以内 エトキサゾール:2回以内	無人航空機による散布
	ミカンハダニ、ミカンサビダニ					
	チャノホコリダニ、アザミウマ類					
	ミカンハダニ、ミカンサビダニ チャノホコリダニ、アザミウマ類 ミカンハダニ、ミカンサビダニ リュウキュウミカンサビダニ					
みかん	ナメクジ類、リュウキュウミカンサビダニ	2000倍	200~700ℓ/10a	収穫7日前まで	本剤:2回以内 アバメクチン:3回以内 エトキサゾール:2回以内	散布
	ミカンハダニ、ミカンサビダニ チャノホコリダニ、アザミウマ類 ミカンハダニ、ミカンサビダニ	2000~3000倍				

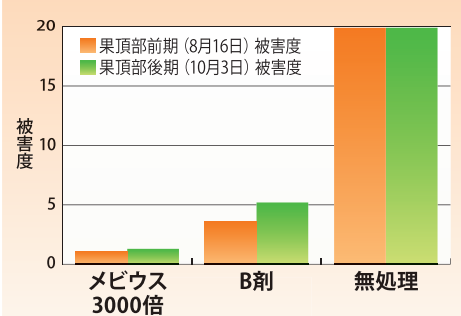
試験事例

みかん/ミカンハダニ



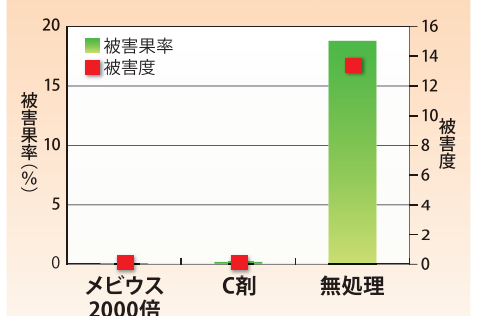
●平成28年 協友アグリ研究所 ●試験期間:7/12~8/9 ●品種:青島温州(8年生ポット) ●区制:1区1樹2連制 ●試験方法:300ℓ/10a相当量を散布し約3時間後に40ml/h相当で30分間降雨処理を行った。所定の日数でミカンハダニ雌成虫を接種し、産下卵とふ化幼虫の生死を調査した。

みかん/チャノキイロアザミウマ



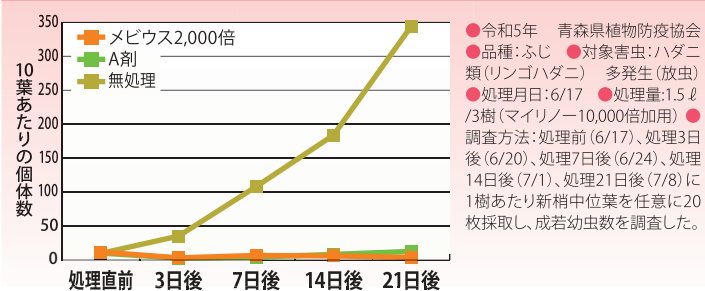
●平成23年 愛知県農業総合試験場 ●発生状況:多発生 ●品種:宮川早生(11年生) ●区制:1区3樹 ●処理月日:果実肥大期(6/6、7/1、7/29、8/26、9/15)に十分量(2ℓ/樹)散布。 ●調査月日:8/16(果実前期被害)、10/3(果実後期被害)に75果/樹の被害度を調査した。

みかん/ミカンサビダニ



●平成22年 愛知県農林水産研究所 ●発生状況:中発生 ●品種:若崎早生(12年生)と愛媛中生(10年生) ●区制:1区1樹4反 ●処理月日:8/25に十分量散布し、散布8日後に発生していたミカンサビダニによる被害果を全て除去した。 ●調査月日:10/5(散布41日後)に全果実を被害程度別に計数した。

りんご/リンゴハダニ



●令和5年 青森県植物防疫協会 ●品種:ふじ ●対象害虫:ハダニ類(リンゴハダニ) 多発生(放虫) ●処理月日:6/17 ●処理量:1.5ℓ/3樹(マイリノール10,000倍加用) ●調査方法:処理前(6/17)、処理3日後(6/20)、処理7日後(6/24)、処理14日後(7/1)、処理21日後(7/8)に1樹あたり新梢中位葉を任意に20枚採取し、成若幼虫数を調査した。

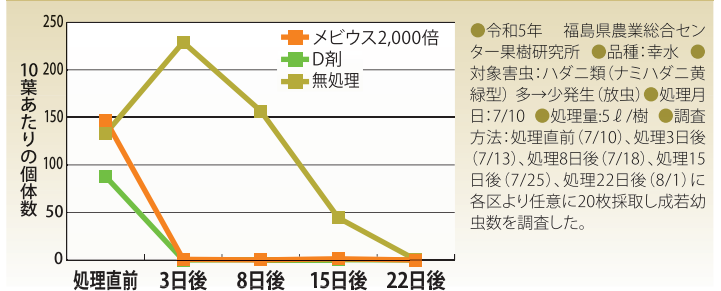
●ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、できるだけ年1回の散布とし、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用してください。

●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

- ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかけないようにしてください。
- ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
- ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているか確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

 - ①マルハナバチの巣箱及びその周辺にかけないようにしてください。
 - ②マルハナバチを放飼中の施設では、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、病害虫防除機関の指導を受けることが望ましいです。

なし/ナミハダニ



●令和5年 福島県農業総合センター果樹研究所 ●品種:幸水 ●対象害虫:ハダニ類(ナミハダニ黄緑型) 多→少発生(放虫) ●処理月日:7/10 ●処理量:5ℓ/樹 ●調査方法:処理直前(7/10)、処理3日後(7/13)、処理8日後(7/18)、処理15日後(7/25)、処理22日後(8/1)に各区より任意に20枚採取し成若幼虫数を調査した。

●水産動物植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

使用上の注意事項 (抜粋)

- ボルドー液との混用はさけてください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなるので防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにしていないに散布してください。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、できるだけ年1回の散布とし、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかけないようにしてください。
- ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
- ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているか確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ①マルハナバチの巣箱及びその周辺にかけないようにしてください。
- ②マルハナバチを放飼中の施設では、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、病害虫防除機関の指導を受けることが望ましいです。
- 蜜に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の蜜に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- 水産動物植物への影響
- 水産動物植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届くところには置かないでください。★空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。